

Infoprint 45



安全の手引き

お願い!

本書は製品をご使用になる前に必ずお読みください。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

第1刷 2001.10

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

目次

製品安全およびその他の情報	1	電気の安全性	4
本書について	1	火災に対する安全性	4
安全上の注意	1	避雷に関する安全性	5
安全に正しくお使いいただくために.	1	レーザーに対する安全性	5
絵表示について	1	情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示	5
安全上の予防対策.	4		

製品安全およびその他の情報

本書について

本書は、Infoprint 45 について次の内容を説明します。

- 安全上の注意
- 安全に正しくお使いいただくために
- 絵表記について
- 安全上の予防対策
- 情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示

安全上の注意

安全上の注意には 2 種類あります。

危険は、死亡または重度の傷害が発生する可能性がある危険が存在することを示します。



注意は、中程度または軽度の障害が発生する可能性がある危険が存在することを示します。

安全に正しくお使いいただくために

この製品を安全に正しくお使いいただくために、このマニュアルには安全表示が記述されています。このマニュアルを保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

あなたとあなたの周りの人々の危害および財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよびこの製品の安全表示では、以下の絵を表示しています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

危険

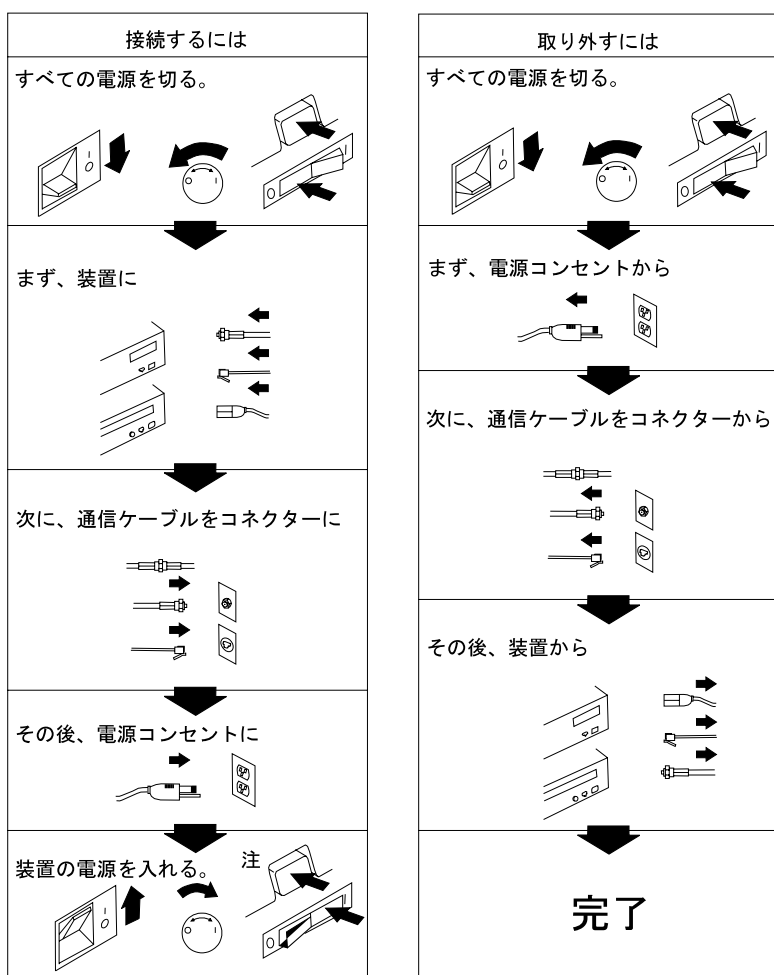
- この製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- この製品の構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。

- 電源プラグをコンセントに接続する前に、コンセントが正しく接地されており、正しい電圧であることを確認してください。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
- 万一、異物（金属片、水、液体）が製品の内部に入ったときは、すぐに製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

⚠ 危険

- ケーブル類の取り付け、取り外し順序。

電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。装置を設置、移動、または接続するときには、以下のようにケーブルの接続および取り外しを行ってください。また、電話回線、通信回線またはテレビのアンテナ線が接続されている製品は、雷の発生時には回線の接続または取り外しをしないでください。



注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください。)
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 長時間使用しないときは、電源プラグを AC コンセントから抜いてください。



危険

<1-13> 雷雨中に、通信ポート、テレポート、またはその他のコネクタを接続したり、切り離したりしないでください。

hcsf0113



危険

<1-14> 通信ポート、テレポート、その他の接続コネクタの接続または切り離しをする前に、プリンターの電源をオフにして、プリンターの電源コードをコンセントから抜いてください。

hcsf0114



注意:

<2-20> この製品には、廃棄方法が規制されている材料、部品（バッテリーなど）、および消耗品（トナーおよびトナー・カートリッジなど）が含まれています。これらの材料、部品、および消耗品などを廃棄する場合は、当該地域の関連規制に従ってください。これらの廃棄物は、燃やさないでください。

hcsf0220



注意:

<2-24> この付近には鋭いエッジがあります。

hcsf0224



注意:

<2-36> 補助トレイまたは封筒トレイのどちらかを取り付けずにプリンターの電源をオンにしないでください。

hcsf0236



- 注意：
<2-43> 高温；プリンターの電源を切り、この部分の部品に触る前に30分以上冷やしてください。

hcsf0243



- 注意：
<2-50> 3000枚フィニッシャーは、上部の重量が重くなっています。移動するときには、トランスポート側（プリンターに接続する側）を持ってください。

hcsf0250



- 注意：
<2-51> このプリンターの重量は、オプションを取り付けない場合で、約53kgです。プリンターを運ぶときは、3人で作業してください。持ち上げるときは十分な注意を払ってください。

hcsf0251



- 注意：
<2-52> 2500枚給紙ユニットの重量は、約35kgです。2500枚給紙ユニットを運ぶときは、3人で作業してください。十分な注意を払ってください。2500枚給紙ユニットは、1人で転がすことができます。

hcsf0252

安全上の予防対策

電気の安全性

IBMの装置は設計および製造の面で非常に高い安全規格に準拠しています。ただし、プリンターが動作状態にあるときは高電圧が発生し、プリンター内部で高熱になる部分がありますのでご注意ください。

火災に対する安全性

プリンターで使用される用紙とトナーは可燃性です。火災を予防するために通常の防火対策を行ってください。これらの防火対策には、燃える可能性のあるもの（たとえば、カーテンや化学薬品）をプリンターから遠ざけ、十分な換気と冷却を行い、無人での操作を制限し、訓練された要員がプリンターを操作するようにするなどの常識的な対策が含まれます。

避雷に関する安全性

人身事故を回避するため、雷雨の最中に通信ポートや他のコネクタの接続や切り離し作業を行なわないでください。

レーザーに対する安全性

このプリンターは、米国の食品医薬品局によって規定されたクラス 1 のレーザー製品の性能規格に適合しており、お客様がアクセス可能な区域では危険なレーザー放射が生じないように設計されています。この安全性は保護ケースおよびスキャン安全装置を設けることによって達成されました。

種々のカバーは専門のサービス技術員だけが取り外し、取り付け、交換を行います。レーザーに関しては、オペレーターが操作しなければならない制御機構または調整機能はありません。

この製品がクラス 1 のレーザー製品に適合した状態を保つようにするためには、オペレーターによる保守は行ってはなりません。レーザーの作動または電源に影響を与える調整機構は、オペレーターからアクセスできないようになっています。

このプリンターは、クラス 3B のレーザーを内蔵するクラス 1 のレーザー製品です。

情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示

電波障害自主規制 届出装置の記述

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。



Printed in Japan

GA88-0232-00



日本アイ・ピー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12